

[第2分科会] 第4回分科会の御意見のうち
反映するもの以外の御意見の取扱いについて

No	政策	御意見（要約）	取扱い
1	政策1 未来を担う人財の育成	身体的障がいや、知的、精神的障がいのほか、 <u>現在、小中学校で、不登校やメンタル面に悩みを抱える児童が増加しているという傾向があるという報告があるので、(2-1-1「多様なニーズに応じた切れ目のない子育て支援」の主な取組にある)「障がいのある子どもやひとり親家庭など特別な支援が必要な子ども・家庭に対して」という部分をもう少し細かく分けて、多様化していることがわかるように見えると良いのかなという気がしました。</u>	不登校やメンタル面に悩みを抱えている児童に関しては、2-1-3「多様なニーズに応じた快適で質の高い教育の提供」において整理します。
2	政策2 誰もが文化・スポーツに親しめる機会の充実	先日の桜マラソンに福士加代子さんや青山学院大学の生徒5人の参加がありました。彼らのような専門家というか本職の人はこんなに違うんだなというのを見せつけられた部分がありました。 <u>そういう人たちと一緒に走れるのはいい経験になると思</u> <u>いました。</u>	個別の事業を実施する際の参考にします。
3	政策2 誰もが文化・スポーツに親しめる機会の充実	父兄の中には、部活動が地域に移行してしまうとなかなか子どもが積極的に行けない、学校で放課後に続けてやるのであれば部活もできるけど、ということがあのようなので、 <u>学校独自で部活ができるのであれば、それも利用できるような柔軟的な対応で</u> <u>進めていただければ、部活に参加する子どもの数の確保とともに、中学校における生徒指導の効果的な効果も期待できると思います。</u>	国の動きを注視し、今後の参考にします。

4	政策2 誰もが文化・スポーツに親しめる機会の充実	(地域ねぶたに関して) <u>地域で活動している市民団体や地域団体にも専門家を派遣するとか、そういう取り組みがあってもいいのかなと感じました。</u>	個別の事業を実施する際の参考にします。
5	政策2 誰もが文化・スポーツに親しめる機会の充実	<u>青森には結構すごい食材もありますし、昔ながらの青森県の食べ物もあります。だから、これは食文化ということで、全国的に発信することをどこかに書いてもいいのかもしれないと思います。ホタテやナマコ、もちろんリンゴも。</u>	第1分科会が所管する1-3-2「ブランド力向上による生産力・収益力の向上」において整理します。
6	政策4 高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり	(地域包括ケアシステムに関して) 行政の人に知っておいてもらいたいのは、 <u>最後はどこで死ぬか</u> というのをいつも頭の片隅に入れてもらって対応してもらったほうがいいということです。	個別の事業を実施する際の参考にします。
7	政策6 安全・安心な市民生活・地域社会の確保	<u>実際の地域コミュニティやまちづくりの担い手の確保について、次の活動に参加したいと思えるような人材を作っていくことには、すごく難しいんじゃないかという気がします。なので、人材確保に向けての活動や啓蒙においては、そのコミュニティがなぜ必要なのかということを意識していかないと非常に難しいと思います。</u>	個別の事業を実施する際の参考にします。